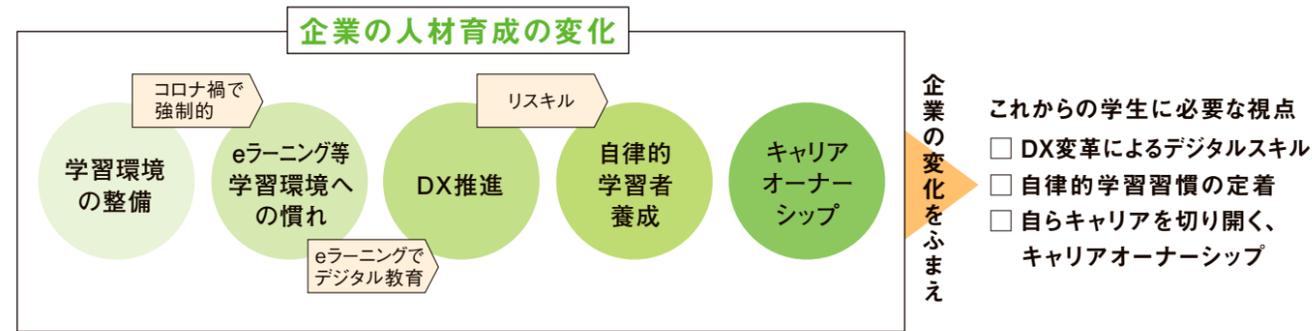
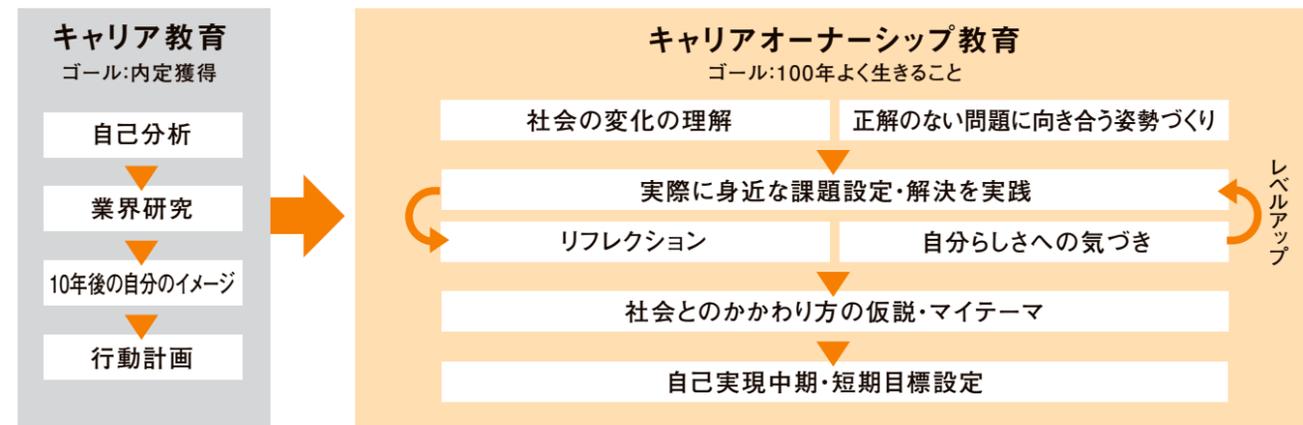


【図表3】これから学生に求められる力



【図表4】キャリア教育からキャリアオーナーシップ教育への転換



「低学年から始めたいキャリアオーナーシップ教育」
 このような変化の中で、学生に求められる、かつ彼らのキャリア構築のために大学が取り組むべきことは何か。私は「デジタルスキル」と「自律的学習者」の養成がポイントになると考えます【図表3】。
 今後、デジタルスキルは文系・理系、業界、職種を問わず、不可欠になります。その養成のために、当初はIT業界がUdemyなどのオンライン学習を活用していましたが、今やどの業界でも、社員のリスキルの一環として学ばせるようになってきています。伝統的に文系学生の採用が多い商社でも、今はビジネスとデジタル、両方に精通した人材のニーズが高まっています。これまで、数理・AI・データサイエンス教育に力を入れる地方の文系私立大学や女子大はあまり多くありませんでしたが、他大との教育の差別化を図るうえで、取り組む価値があるはずです。

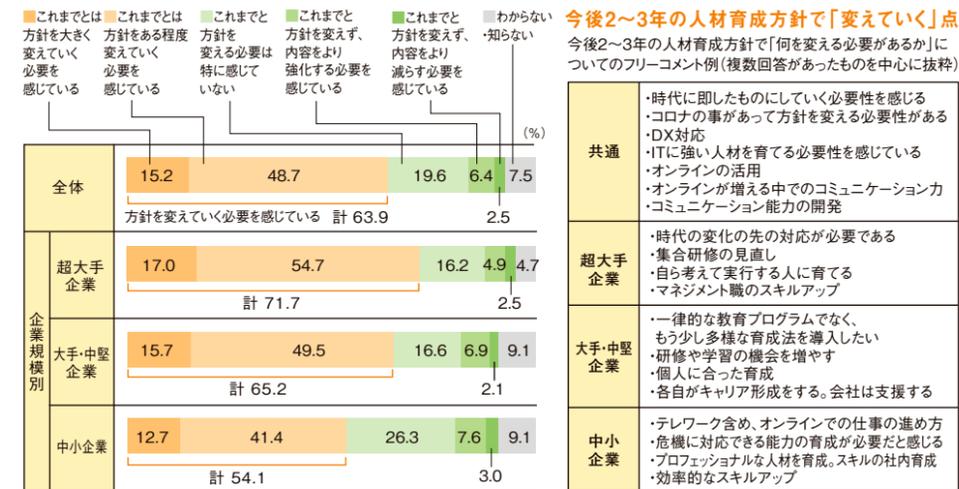
「自律的学習者」の養成については、キャリア教育の見直しをお勧めします。3年生対象の自己分析、業界研究といったファーストキャリアの内定獲得に向けた短期的な就活支援ではなく、卒業後の長いキャリアの形成に向け、自律的に学び続ける人材を育成する「キャリアオーナーシップ教育」への転換です【図表4】。1年次のスタートダッシュ時にこそ変化を社会と自分とのかかわり方を実感する経験や、問題発見・課題設定・課題解決のプロセスを通して正解のない問題に向き合う教育を提供するのが、東洋大学で行われている「キャリアオーナーシップ教育」は、DX人材養成を通じて自律的学習者を育てることを狙った設計で、新しいキャリア教育の手法として注目されています。変化の時代に向け自律的に学び続ける人材を輩出するために大学教育をどう再構築していくか。今こそ、見直してみませんか。

【図表1】企業の人材戦略の変化の例

富士通	基本的に一律の必修研修は廃止／自律的な学び・成長の基礎となるキャリアオーナーシッププログラム導入
NTT	転勤・単身赴任を廃止へ／コロナ禍が落ち着いた後もテレワークの継続／ジョブ型人事制度の導入／自律型キャリア形成の推進
大和証券	社員の成長とキャリア実現を支援／社員一人ひとりのスキル・能力・経験等を可視化
セブン&アイ・ホールディングス	「世界トップクラスのグローバル流通グループ」を掲げ、システム開発の内製化に注力／IT・DX人材を大量採用
キャノン	工場従業員を含む1500人にクラウドや人工知能(AI)の研修を実施／幅広い人材の職種転換を後押し

*報道等にある情報を編集部でまとめ

【図表2】今後2～3年の人材育成の方針(全体/企業規模別)



*パーソル総合研究所「コロナ以降の人事戦略2021最新動向レポート」より。2021年1月22～26日実施。(n=1026)

企業の経営戦略、人材戦略は変革期へ
 大手コンビニがマーケティング事業に乗り出してデジタル広告配信を手掛ける会社を設立したり、農機メーカーが事業領域を食料・水・環境分野に拡大したりするなど、デジタル技術の革新や価値観の多様化、コロナ禍などを背景に、企業はビジネスモデルを大きく変えつつあります。業界の枠を超えた事業進出が当たり前になった今、それを抜きにした従来の「業界研究」をベースとした就活では、学生のキャリアを狭めてしまいかねないでしょう。
 経営戦略が変われば、それを支える人材育成戦略も変わり、求められるスキルも変わります【図表1】。折しも2021年度には多くの企業で2030年に向けた中期計画が立案されました。2022年度はその実行フェーズ

に入ります。大学が企業の動向を把握する際は、新卒採用に目を向けがちですが、企業の中・長期計画が色濃く反映される人材開発部門の動きにも注目すべきでしょう。事実、全国の採用・人事担当者に聞いた調査によれば、6割以上の企業が今後2～3年の人材育成の方針を変えていく必要を感じています【図表2】。具体的には「時代に即したものにしていこう」「DX対応」「ITに強い人材を育てる」といった点が挙がっています。
 テクノロジーの発展による社会や産業の変化はこの先も続きます。どのような変化があったとしても対応できる力を身に付けるには、「常に学び続ける」という姿勢を持つことが必要ではないでしょうか。その証左として、今、企業の人材開発部門では「キャリアオーナーシップ」という考え方が注目を集めています。これは、個人が自分のキャリアに対して、

DX人材育成とキャリアオーナーシップ教育

Society5.0時代に学生に求められる力とは?



(株)ベネッセ iキャリア HRソリューション企画部
矢竹 秀行
 やたけひでゆき ●立命館大学大学院社会学研究科修了。ベネッセコーポレーションにて高校向けの教育支援や大学入試分析などに携わる。2016年より(株)ベネッセiキャリアにて大学の国際化や教育改革支援業務を経て、現在は企業の人材開発支援を中心に活動。